

**e + i M e c 講習会【基礎編（橋梁点検）】の受講  
及び准橋梁点検技術者認定試験の手引き**

**2024年度版**

**独立行政法人国立高等専門学校機構**

**舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター**

## 1. 本講習会の目的

本講習会は、地方自治体が管理する道路橋（鋼橋及びコンクリート橋）のうち一般的な橋梁形式のものについて、道路橋定期点検要領（国土交通省道路局）に基づき実施する点検業務を確実に履行するために必要な知識及び技能を有する技術者を養成することを目的としています。

本講習会は、准橋梁点検技術者認定講座であり、全課程を修了した者は、准橋梁点検技術者認定試験を受験することができます。准橋梁点検技術者とは、独立行政法人国立高等専門学校機構が認定する技術資格です。

## 2. 2024年度 e + i M e c 講習会【基礎編（橋梁点検）】開催予定

### (1) 開催日程

開催回	講習会日	eラーニング（開始日）
第1回	5月11日(土)・12日(日)	4月19日(金)
第2回	5月25日(土)・26日(日)	5月2日(木)
第3回	6月1日(土)・2日(日)	5月10日(金)
第4回	6月29日(土)・30日(日)	6月7日(金)
第5回	7月20日(土)・21日(日)	6月28日(金)
第6回	8月3日(土)・4日(日)	7月12日(金)
第7回	8月26日(月)・27日(火)	8月2日(金)
第8回	9月28日(土)・29日(日)	9月6日(金)
第9回	10月19日(土)・20日(日)	9月27日(金)
第10回	11月9日(土)・10日(日)	10月18日(金)
第11回	11月23日(土)・24日(日)	11月1日(金)

### (2) 実施場所（講習会）

舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター及び舞鶴市内橋梁

### (3) カリキュラム

別添1（e + i M e c 講習会【基礎編（橋梁点検）】カリキュラム）のとおり実施します。

なお、本講習会はeラーニングと講習会を組合せた構成としているため、eラーニング修了証が無いと講習会を受講できません。eラーニング修了証は、指定のeラーニングコースの全講座を受講してチェックテストを全問正解した方に対して発行されます。

### 3. 受講者の募集

#### (1) 募集人数

各回定員10名 ※受講者の選定は申込み先着順とします。

※定員に満たない場合には中止となる可能性があります。

#### (2) 受講条件（対象者）

次の①②③④のいずれかに該当することとします。

- ① 大学及び高等専門学校<sup>1</sup>の建設系学科の学生
- ② 建設業、建設コンサルタント業務等を実施する民間企業に所属する技術者
- ③ 行政機関に所属する建設系技術職員
- ④ ①～③以外で、橋梁に関する初歩的な知識を修得していると認められる者

#### (3) 募集期限

原則、各開催回 e ラーニング開始2日前とします。

#### (4) 申込方法

i M e c ホームページ (<https://www.maizuru-ct.ac.jp/imec/>) の講習会の予約からお申込みください。講習会の予約から受講までの流れについては、別添2を参照してください。

#### (5) 受講料

受講者1名につき44,000円（税込）

※支払方法等は受講申込受付後にご案内します。

※キャンセルに伴う受講料の返金はできません。

### 4. 准橋梁点検技術者認定試験

#### (1) 受験資格

e + i M e c 講習会【基礎編（橋梁点検）】の全課程を修了した受講者は、准橋梁点検技術者認定試験を受験することができます。

#### (2) 試験で確認する知識及び技能

- ・橋梁工学に関する知識及び道路構造物の損傷に関する知識を有すること。
- ・一般的な橋梁形式の道路橋について、道路橋定期点検要領（国土交通省道路局）に基づき実施する点検業務を確実に履行するために必要な知識及び技能を有すること。

(3) 実施方法

試験は、選択式問題とし、i P a d（貸出）を用いて解答いただきます。  
出題数は30問、制限時間は45分です。

(4) 実施日及び実施場所

実施日は、講習会の最終日とします。

実施場所は、舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センターとします。

(5) 合格基準

橋梁メンテナンス技術レベル認定基準4. 資格認定試験の合格基準（1）准橋梁点検技術者認定試験合格基準のとおりです。

(6) 准橋梁点検技術者登録申請

資格認定試験合格者には、登録申請の案内をメールにて送付します。

登録申請の案内は、受講した講習会により、年4回に分けて実施する予定です。

<u>第1回～第3回</u>	<u>2024年 6月下旬</u>
<u>第4回～第6回</u>	<u>2024年 8月上旬</u>
<u>第7回～第8回</u>	<u>2024年10月下旬</u>
<u>第9回～第11回</u>	<u>2024年12月下旬</u>

なお、合格者名簿は、舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センターにおいて閲覧することができます。

<講習会についてのお問い合わせ先>

舞鶴工業高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター

住所：〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234

電話：0773-62-8877（直通）

eメールアドレス：imec@maizuru-ct.ac.jp

<技術資格についてのお問い合わせ先>

舞鶴工業高等専門学校 社会基盤メンテナンス教育センター

技術資格運営事務局

住所：〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234

電話：0773-62-8877（直通）

eメールアドレス：imec@maizuru-ct.ac.jp

e-learning		i M e c 講習会【基礎編（橋梁点検）】			
限	時間	(分)	講座名	内容	日
-	9:30-10:20	(50)	講習会ガイダンス	スケジュール, 受講者交流	1日目
1	10:30-11:40	(70)	橋梁工学	概説, 演習問題	
2	12:40-14:30	(110)	コンクリート構造物の損傷と対策	損傷探索実習, 実物見学・解説	
3	14:40-16:30	(110)	鋼構造物の損傷と対策 共通の損傷	上部工・下部工・支承・舗装・附属物等の実物 見学・解説	
4	16:40-18:00	(80)	維持管理計画	維持管理計画の立案演習	2日目
5	9:00-9:30	(30)	現場実習ガイダンス	橋の点検要領, 実習橋梁諸元	
6	10:00-10:50	(50)	コンクリート橋の点検	現場実習, 定期点検の着眼点	
7	11:00-11:50	(50)	鋼橋の点検	現場実習, 定期点検の着眼点	
8	13:00-14:10	(70)	詳細調査手法	ひびわれ幅, 剥離剥落, 空洞, 中性化深さ, 塩分量, Co.強度, 鉄筋探査等	
9	14:20-14:50	(30)	まとめ	質疑応答	
10	15:00-15:55	(55)	学修到達度確認試験	選択式問題30問 解答時間45分	
-	15:55-16:05	(10)	修了式	アンケート, 修了証の交付	

  

e-learning	講座名
橋梁工学	↑
コンクリート構造物の損傷	↑
鋼構造物の損傷	↑
構造物の補修・補強	↑
共通の損傷	↑
橋の点検要領	↑
鋼橋の点検	↑
コンクリート橋の点検	↑
構造物の詳細調査	↑

  

《凡例》

e-learning講座単位
座学（講義）
体験型学修

## e + i M e c 講習会の予約から受講までの流れ

